

ほっかいどうの社会保障

2020年3月24日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

北見市が 資格証世帯に短期証発行

新型コロナウイルス感染問題

帯広市では短期証全件郵送

北海道社保協は、国民健康保険加入世帯の健康管理と感染拡大防止の立場から、経済的理由で医療機関への受診が抑制されることがないように、3月6日の札幌市への要望に続いて、3月10日、北海道に対して要望しました（右写真）。

各地の社保協や加盟団体に、各市町村への要請・懇談をお願いしています。各地の状況を報告します。



重症化を防ぐために、資格証世帯に短期証発行

北見市は、新型コロナウイルス感染拡大対策として 国民健康保険の資格証明書が発行されている340世帯400人に対して、2月28日、3、4月分の2カ月の短期証を郵送しています。

SARSウイルスの流行の際にも、資格証明書発行世帯に対して、医療にかかることを控えて重症化することを防ぐために、同様の措置をとりました。帰国者・接触者センターへのアクセスに関わらず、短期証で医療機関にかかることができます。北見市は、4月末以降の対応については、その時点での状況を見て判断するそうです。

手洗い優先のため、水道料金滞納世帯の給水停止を解除も

帯広市では、短期証は留め置きせず、4月からの保険証も全件郵送交付しています。また、水道料金滞納世帯への給水停止もありましたが、手洗い優先のため2月で給水再開しました。

北海道への主な要望項目

- ①国保加入世帯に対する短期保険証の窓口交付（事実上無保険状態）を中止し、速やかに国保証を郵送するように（市町村を）指導（技術的助言）すること。
- ②国保加入世帯に実施されている「資格証明書」（10割負担）の交付を直ちに解除し、国保証を郵送するように（市町村を）指導（技術的助言）すること。
- ③一部負担金の支払いが困難な世帯に、徴収猶予（支払猶予）、減免等の措置を柔軟に行うように指導（技術的助言）すること。

道の子ども医療費制度充実求め、自治体意見書採択広がる！

松前町・福島町・江差町・余市町・仁木町・積丹町・北竜町・初山別村・剣淵町・東川町・美幌町・占冠村・更別村

北海道の子ども医療費制度は全国で最低ランクです

全額無料：通院 0～2歳まで・非課税は就学前まで／入院 0～2歳まで・非課税は小学生まで（初診時一部負担金・所得制限有）。

子ども医療費無料化を求める北海道ネットワークは、鈴木知事あてに、せめて中学校卒業まで広げることを求める署名の推進とともに、道内の市町村議会へ、北海道の子ども医療費無料制度の拡充を求める意見書について陳情しました。

3月議会で、13町村で採択されています（3月24日現在集約分）。子ども医療費ネットは、市町村の制度拡充を求める取り組みもすすめています。

消費税 5%引き下げ・社会保障充実

4.1 宣伝行動

日時 4月1日（水）12時15分～45分
場所 大通公園3丁目

